

# 06

BOOK GUIDE

## 湖陵地域の本



湖陵地域は、総面積2.2km<sup>2</sup>で、新出雲市を構成する旧2市5町のなかでは最も小さいですが、美しい海岸と湖に囲まれた町です。

とりわけ、汽水湖である神西湖は、いにしへの「神門水海」を今に伝え、生息するシジミやウナギはおいしいと評判の湖の幸です。また、静かな水面に羽を休めるハクチョウやカモを観察する絶好のスポットでもあります。この神西湖と日本海を結ぶ<sup>さしみ</sup>差海川は、江戸時代に人工的に掘られた排水路で、今でも大きな役割を果たしています。

湖畔には景観を活かした国民宿舎国引荘やクアハウス湖陵などの健康・保養施設があり、今後も自然や風景に配慮した開発が求められています。

砂丘地では、サツマイモの栽培が盛んで、特産品の「西浜イモ」は、甘みが強いことで人気があります。



●こりょうちょうし

## 湖陵町誌（平成12年版）

著者名 湖陵町誌編纂委員会 編

発行者 湖陵町 出版年 平成12年（2000）

歴

合併35周年記念事業として企画、出版された町誌です。

本書は、最新の学術的な成果を盛り込み、原始古代から現代までの歴史を詳述しているほか、<sup>あざ</sup>字のみならず字以外の小地名も地図上に落とす新たな試みや、神西湖の新田開発についても詳細な検討が加えられるなど、意欲的な姿勢が結実した一冊になっています。また町誌編さんの過程では、4冊の『湖陵町誌研究』を発刊して執筆者の研究成果を載せているほか、資料編に代わる『湖陵町資料目録』を発刊するなど、多面的な編さん作業が行われています。



●こりょう あすにつたえる

## 湖陵 明日に伝える

著者名 山陰中央新報社 編

発行者 湖陵町 出版年 平成17年（2005）

写 歴

湖陵町が出雲市と合併するにあたり、閉町記念誌として発刊した冊子です。

本書では、湖陵町誕生以来の主なできごとを懐かしい写真や当時の新聞をもとに編集し、巻頭には合併を控えた座談会も収録されています。

わずか59頁の小冊子ですが、湖陵町民にとっては大切な思い出に残る一冊といえます。



●にしはまじんのそんがいはいってんにかんするけんきゅう

## 西濱人の村外発展に関する研究

著者名 三原亮

発行者 島根県立今市商業学校興亜経済研究班

出版年 昭和18年(1943)

歴

出雲の近江商人ともよばれた西濱人の村外での活躍を記した著作です。

本書では、はじめに西濱村の現況と明治初期における大池、板津、<sup>さしみ</sup>差海の村勢を概観したうえで、第3章からは、徳川時代から第二次世界大戦下の村外での発展について研究し報告しています。

しかし、結語に記されているように、西濱人の県外、国外での活躍が戦時下での指揮高揚に利用されている感も否めないで、それを念頭に置いて読む必要があります。

●こりょうのみんわ

## 湖陵の民話

著者名 田中瑩一 編

発行者 湖陵町教育委員会

出版年 平成8年(1996)

社

本書は、編者が島根大学昔話研究会の学生たちと、湖陵町を訪れて聞き取った民話を録音したものを中心に一冊の本としてまとめたものです。

民話は、「昔話」、「伝説」、「きつねとたぬきとむかしの話」に区分し、33人の話者から54話を採録しています。

これらの話が繰り返し読み聞かせられ、次の世代に受け継がれていくことを期待して、この本はまとめられています。

●いつまでもつたえたいこりょうのあじ

## いつまでも伝えたい湖陵の味

発行者 湖陵町経済課

出版年 平成元年(1989)

技

伝統料理の次代への継承と米消費拡大を目的として発行された料理本です。

はじめに、湖陵町の特産である西濱いもや養豚などについて説明したのち、米麦、芋類、豆類、野菜類などの具材ごとの伝統料理を掲載しています。

また伝統料理には、それぞれの提供者による作り方、材料、ひとことが添えられ、多くの挿絵が入った手づくり感のある小冊子です。



●じんざいこのしぜん

## 神西湖の自然

著者名 神西湖の自然編集委員会 編

発行者 たたら書房 出版年 平成7年(1995)

自

神西湖を通して、汽水湖の貴重な価値について理解してもらうことを目的として発刊された刊行物です。

本書は、地質・水質・プランクトン・鳥類・魚類など、各分野の第一線の研究者が、2年間の神西湖の現況調査による総合研究の成果を、一般の人にもわかりやすく解説しています。

また巻末に掲載された、これまで中海や宍道湖も調べてきた専門家による座談会は、神西湖を守るためにはどうしたら良いかについてのフリートークですが、その特性を活かした活用方法を示唆するものとして、今後の参考になるものといえます。

●りゅういきじゅうみんのごういけいせいとかわづくり

## 流域住民の合意形成と川づくり

発行者 リバーフロント整備センター

出版年 平成22年(2010)

技

神西湖流域の治水や自然環境に対して、行政と流域住民が一体となった取り組みの過程を紹介した刊行物です。

また、地域の宝である神西湖の水辺環境の保全や水質環境の改善など、自然との共生を考えるうえで大いに参考となる一冊です。

さらに、地域の貴重な歴史資源でもある神西湖の変遷や江戸時代の差海川開削、新田開発など、神西湖のたどってきた歴史を知ることができるほか、湖底に生息するヤマトシジミの大きな役割についてもわかりやすく解説しており、あらためて自然の恵みを示唆する刊行物です。